

■無料歯科相談（健口フェア）中止のお知らせ

6月から11月に時期を変更して開催を予定していました健口フェア（無料歯科相談）ですが、新型コロナウイルス感染症の収束が現時点で見込めないため、今年度も中止することにいたしました。健康と安全を考慮しての決定ですので、どうぞご理解いただけますようお願いいたします。

毎年6月4日から10日は「歯と口の健康週間」です。新潟県の12歳児1人あたりの永久歯虫歯本数は0.3本であり、これは20年連続で全国最少という誇るべきものです（2019年文部科学省調査）。

しかし、年齢を経ることに歯の健康状態は悪くなり、1人あたりの虫歯本数は55～65歳では17.9本（H29年県民健康・栄養実態調査）となっています。また、虫歯とならんで歯の喪失原因である歯周病に罹患している人の割合は40歳代以上で約8割です。（H23年県民健康・栄養実態調査）自分の歯で問題なく噛んで食事できる歯の本数は20本とされています。

よく噛んで食べられないことは食べる楽しみを奪われ、生活の質を下げることとなります。歯周病は糖尿病、血管の動脈硬化（脳梗塞、心筋梗塞）、誤嚥性肺炎など、全身の健康に関与することが知られています。新型コロナウイルスの生体内侵入に必要な感染促進因子が舌苔に含まれており、歯周病が重症化して生じる歯周ポケットにも新型コロナウイルスの侵入に必要な物質が共に存在していることが最近の研究でわかってきています。

歯周病は口腔ケアで十分抑制ができる病気です。まずは歯磨きをしっかり行い、毎日のセルフケアを丁寧に行うだけでなく、かかりつけの歯科医院などで定期的に専門的口腔ケアを受けることをお勧めします。

村上市岩船郡歯科医師会
会長 佐久間 利則



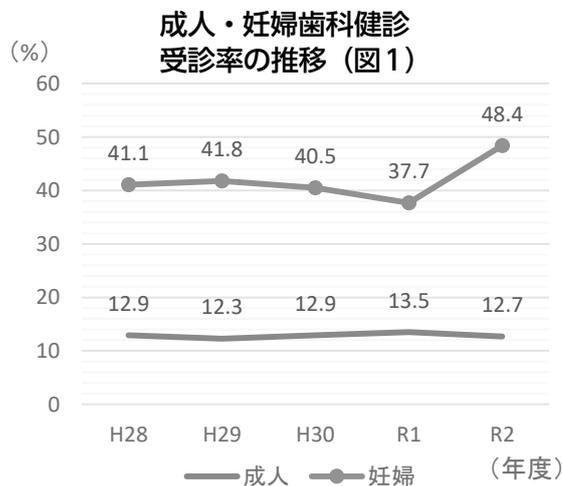
問い合わせ 保健医療課健康支援室 ☎53・2111（内線2442） 記事ID 0036681

歯の喪失予防や健康維持のために 歯科検診を受けましょう

■成人・妊婦歯科健診について

市では、20・30・40・45・50・55・60・65・70歳を対象に成人歯科健診、妊婦を対象に妊婦歯科健診を実施しています。

成人歯科健診の受診率は毎年横ばいで推移しています。令和2年度の妊婦歯科健診の受診率は、48・4%と前年度に比べて上昇しています。（図1）
むし歯や歯周病は、生活習慣病などの全身の健康と関連があります。また、妊娠中は、身体の変化に伴ってお口の状態も変わってくるため虫歯や歯周病にもなりやすくなります。
なお、成人歯科健診の対象となる人には6月下旬に受診券をお送りしま



す。むし歯、歯周病の重症化予防のためには、かかりつけ歯科医をもち、定期的に歯科健診を受けることが大切です。ぜひ歯科健診を受診しましょう。